

佐賀大学 海外派遣留学報告書

1	学籍番号	16251003		
2	氏名	池山 裕一郎		
3	佐賀大学での所属(派遣時)	農 学部/研究科	応用生物科 学科/課程	4 年
4	留学先	大学: ヴィタウタスマグヌス		学部・学科等:
		国名	リトアニア	都市名
5	留学期間	2019 年 8 月 ~ 2020 年 1 月		
6	留学先大学	①【留学前】留学先大学を選んだ理由 大学1年生のころに参加した短期留学プログラムで訪れたヴィタウタスマグヌス大学に魅力を感じ、リトアニアを含めたヨーロッパの文化や暮らしについて知りたいと感じたから。		
		②【留学後】留学先大学の魅力 非常に多くの国から留学生が来ていること、ヨーロッパはもちろん、西アジア、アフリカの一部の国からの学生もいる。学生寮には留学生がまとまって住んでいるため、さまざまな国の人と料理をシェアしたり、交流することができる。		
7	語学について	①【留学前】TOEFL等の公的試験の最終得点		
		試験名称 IELTS	スコア 5.5	
		②【留学前】語学能力向上のために準備したこと 単語帳を読む、海外ドラマを見る、動画サイトで英語学習に関わるものを視聴、ひとりごとでスピーキング練習		
		③【留学中】現地生活を開始した当初の日常生活における語学能力 □ア)ほとんど困らなかった □イ)少し困った ■ウ)かなり困った □エ)何もわからなかった		
		④【留学中】日常生活で困らなくなるまでかかった月数 1ヶ月ぐらい		
		⑤【留学中】留学先大学の授業や研究における内容の理解度 □ア)ほとんど困らなかった ■イ)少し困った □ウ)かなり困った □エ)何もわからなかった		
		⑥【留学中】授業や研究で困らなくなるまでかかった月数 2ヶ月ぐらい		
		⑦【留学中】授業や研究室における発言 □ア)ほとんど困らなかった ■イ)少し困った □ウ)かなり困った □エ)何もわからなかった		
		⑧【留学中】授業や研究室における発言で困らなくなるまでかかった月数 1ヶ月ぐらい		
		⑨【留学中】授業・研究の準備の際の文献読解 ■ア)ほとんど困らなかった □イ)少し困った □ウ)かなり困った □エ)何もわからなかった		
		⑩【留学中】授業・研究の準備の際の文献読解で困らなくなるまでかかった月数 1ヶ月ぐらい		
		⑪【留学中】授業・研究におけるレポート等の執筆 □ア)ほとんど困らなかった □イ)少し困った ■ウ)かなり困った □エ)何もわからなかった		
		⑫【留学中】授業・研究におけるレポート等の執筆で困らなくなるまでかかった月数 2ヶ月ぐらい		
⑬【留学中】語学能力向上のために努力したこと 通学時間に10分程度のスピーチを視聴、帰宅後にシャドーイング				

8	履修登録・ 単位認定	<p>①出発前に留学先での履修登録はできたか □はい ■いいえ</p> <p>②留学先に到着後、履修科目の変更・追加はできたか ■はい □いいえ</p> <p>③一学期あたりの履修科目・単位数 7科目を履修、36単位を取得</p> <p>④一学期に履修した科目数・単位数の量 ■多すぎた □ちょうどよい □少なかった</p> <p>⑤履修登録に関するアドバイジング ■あった □なかった</p> <p>⑥留学先で取得単位を佐賀大学で単位互換できたか ■はい (審査中 科目 単位) □いいえ</p>
9	授業内容	<p>①履修した科目の具体的な概要・内容 English C1…C1レベルの総合英語の授業、Lithuanian Language For Foreigners (Begginers Level) A1…A1レベルのリトアニア語学習の授業、Lithuanian History…リトアニアの歴史の授業、バルト三国やヨーロッパ・ロシアとの関わり、Survival Lithuanian…学期のはじめの一週間に開講される留学生向けの生活するための最低限のリトアニア語の授業、Algology and Mycology…専門科目、藻類学と菌類学、Religion and Politics…世界の国々において宗教と政治がどのようにかかわっているのか学ぶ授業、Statistics in Environment and Biology…専門科目、自然科学のデータを扱った統計処理の授業</p> <p>②留学先の学年暦(学期・休暇)、授業スタイル、授業への準備、試験等の準備 1) 学年暦 9月～1月秋学期 1～2月冬季休暇 2月～7月春学期 8月～9月夏季休暇 2) 授業スタイル 専門科目は座学形式と実習形式がセットとなっている、教養科目の授業はディスカッションを含んだ座学の授業が多い、机といすが並んだ教室は少なく、簡易机付きの机といすが並んだ教室が多い。 3) 予習復習方法 学生専用のポータルサイトがあり、次の授業や前回までの授業のスライド、資料を閲覧することができる。レポートや課題もそのポータルサイトを通して回答、提出が可能。 4) 試験・レポートの準備 中間試験と最終試験の期間中に試験・レポートがある。試験のスケジュールが一斉にポータルサイトに掲示され、試験範囲は授業中もしくはサイトに掲示される。</p>
10	課外活動	<p>①課外活動に参加した頻度 □ア) 週に2回以上 ■イ) 週に1回程度 □ウ) 月に1回～数回程度 □エ) 1学期に1回～数回程度 □オ) 参加しなかった</p> <p>②参加した課外活動はどのようなものか 日本文化を学ぶ課外活動が生徒によって運営されており、毎週金曜日にイベントが開催されている。日本人学生として参加した。スポーツアクティビティが曜日ごとに行われており、参加希望者はポータルサイトにおいて登録することができる。</p> <p>③参加した理由 短期留学のときからの友人が参加していたことや、日本文化に興味を持っている学生と話したかったから。</p>

11	学内外の施設・環境等	①留学先のインターナショナルオフィスの支援体制
		□ア) 充実している ■イ) ふつう □ウ) 充実していない(理由:)
		②図書館
		■ア) 充実している □イ) ふつう □ウ) 充実していない
		③学内通信環境
		■ア) 充実している □イ) ふつう □ウ) 充実していない
		④運動施設
		■ア) 充実している □イ) ふつう □ウ) 充実していない
		⑤飲食施設(学食・売店等)
		□ア) 充実している □イ) ふつう ■ウ) 充実していない
		⑥クリニック
□ア) 充実している ■イ) ふつう □ウ) 充実していない		
⑦キャンパスの安全性		
■ア) 安全 □イ) 注意すれば安全 □ウ) あまり安全ではない		
⑧安全について特に気を付けていたこと(キャンパス内)		
キャンパス内で安全に関して特に気を付けていたことはない		
⑨渡航先の治安状況		
□ア) 日本より良い □イ) 日本と変わらない ■ウ) 日本より悪い □ウ) 日本よりかなり悪い		
⑩特に近付かない方がいいと感じた地区や場所		
夜間の市街地の外、飲み屋街の近くの路地。		
⑪通学に関する交通事情や留意点		
バス専用のスマートフォン用アプリを入手して、QRコードを読み取ることで現金よりも格安でバスに乗車できる。ほかにもキオスクなどで購入できる定期券もおすすめ。時折、警察が無賃乗車している人がいないかチェックするためにバス停で停車することがある。その際は読み込んだQRコードや定期券を見せる。現金で購入した時は小さなレシートを受け取るので、降車するまではそれをなくさないように保管しておく必要がある。		
12	生活	①留学中の住居形態
		■ア) 寮 □イ) 民間アパート □ウ) その他()
		②住居はどのように探したか
		大学寮に事前に申し込んだ。
		③留学先での生活費(月額)
		合計 約 32,000 円/月
		詳細: ア) 宿舍費: 0 円 イ) 食費: 25,000 円 ウ) 通信費: 1,200 円 エ) 交通費: 750 円 オ) その他: 5,000 円
		④お金はどのようにしてもっていったか
		現金でユーロに両替したものと日本円両方を持参、日常生活においてはほとんどをクレジットカードで払った。
		⑤留学先における物価(日本・佐賀と比較して)
		□ア) 高い ■イ) 同じぐらい □ウ) 安い
⑥留学中奨学金を受給したか		
■ア) はい □イ) いいえ		
⑦受給した場合は、その奨学金名と金額		
ア) 奨学金名 佐賀大学校友会海外派遣奨励金 イ) 金額 15万円		

13	進路・就職	<p>①留学前に志望していた学部卒業後の進路または大学院終了後の進路 就職…菌類への知識を生かすことのできる専門職、もしくは地域おこしに関わる仕事</p> <p>②留学後、現在志望している進路 就職、もしくは院進学</p> <p>③今回の交換留学を通じて得たもので、将来のキャリアに活かせると思うもの 藻類、菌類に関する専門知識。統計ソフトによるデータの取り扱い方。論文読解。英語リスニング。</p> <p>④進路選択、就職活動を行う上で、不安や気になること 院に進学するか、就職するか。就職活動に関して新型コロナウイルス感染症の拡大の懸念から就職関連イベント開催の中止・延期が増えている。また、それに関わり、アジア人差別がある、という話が増えている。</p>
14	留学後の感想	<p>①留学したことによる成果と課題 成果…生活力の向上。健康的になった。いろんな国の人と仲良くなった。宗教や歴史に関わるタブーを知り、友人にも関わることであるため文化や民族意識に関する学習意欲が向上した。日本の特色や自分の人間性を浮き彫りにすることができた。日本国外のニュースを見ると、その国に関わる人々を思い浮かべることができるようになったことで、情報の受け取り方が変わった。課題…自分が訪れた国や知り合った人の文化に関して継続的に学ぶ。公的手続きを怠らない。睡眠時間を確保する。タスクやスケジュール管理をこまめに行い、生活習慣を整える。英語による読解や動画視聴のスピードを上げる。</p> <p>②これから留学を希望する学生に伝えたいこと 留学先で自分のやりたいことができるのか、しっかりと確認してから決定するのをおすすめする。メールなどで学生サポートやコーディネーターにしっかりと連絡するほうが良い。</p> <p>③国際交流推進センターのサポートに対する提案・意見など 奨学金に関する情報を増やしてほしい。</p>